



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月10日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4960 URL http://www.chemipro.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼俊 寿志
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 徳地 昭博 (TEL) 078 (393) 2524
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無: 有・無
 決算説明会開催の有無: 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,553	△9.8	349	△9.8	110	△31.6	180	98.5
2020年3月期	10,596	13.0	386	18.7	161	103.7	90	44.1

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
2021年3月期	10.	98	—	—	4.1	0.8	3.7
2020年3月期	5.	54	—	—	2.1	1.2	3.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	13,643	4,525	33.2	275. 33
2020年3月期	13,776	4,360	31.6	266. 15

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,525百万円 2020年3月期 4,360百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	588	△222	△118	2,134
2020年3月期	1,271	△171	△333	1,887

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0. 00	—	3. 50	3. 50	57	63.2	1.3
2021年3月期	—	0. 00	—	3. 50	3. 50	57	31.9	1.3
2022年3月期(予想)	—	0. 00	—	3. 50	3. 50		57.5	

(注) 配当金総額には、株式給付信託 (BBT) 導入にともない設定した信託口が保有する当社株式に対する配当金が含まれております。

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	△2.7	360	3.1	150	35.3	100	△44.5	6.08

(注) 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日)等を適用する影響により2022年3月期の業績予想における売上高は、従来に比べ約800百万円の減少を予想しております。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | | |
|----------------------|---|----|----------------------------|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 有・ | <input type="checkbox"/> 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 有・ | <input type="checkbox"/> 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 有・ | <input type="checkbox"/> 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 有・ | <input type="checkbox"/> 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	16,623,613株	2020年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	2021年3月期	188,032株	2020年3月期	240,830株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	16,414,463株	2020年3月期	16,382,783株

(注) 1. 期末自己株式には、信託が保有する当社株式（当事業年度125,400株）を加算しております。

2. 期中平均株式数（年度累計）は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式（当事業年度146,520株）を控除して算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(持分法損益等)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概要

当事業年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減速した後、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、変異ウイルスの出現やワクチン接種の進捗への不安等から、引き続き感染拡大への警戒感は強く、今後の経済動向には予断を許す状況とはなっておりません。

米国経済は、企業業績の改善と個人消費の拡大から徐々に上向いてきたものの、欧州経済は停滞傾向が続いております。一方、中国経済は回復傾向を維持したものの力強さはなく、新興国経済も一進一退で推移しました。日本経済についても、海外経済の影響等もあり輸出の鈍化が依然として継続し、個人消費の落ち込みもあり厳しい環境となっております。

このような経済環境の中で、当社の属するファインケミカル業界につきましても不透明感は強く、加えて原材料の価格変動や供給不安また販売価格競争の継続もあり、売上・収益環境の厳しさに変化はありません。

具体的な当社の当事業年度における業績は、主力製品である紫外線吸収剤の売上高が大きく減収となり、電子材料や写真薬中間体等も減収となる一方で受託製造製品等が、相応に増収を確保したものの化学品事業全体では減収となりました。ホーム産業事業も、木材保存薬剤の販売は堅調であったものの、シロアリ駆除工事等が抑制されたことから減収となりました。売上高全体では、前年同期比1,042百万円減収の9,553百万円（前年同期比9.8%減）となりました。利益面については、受託製造製品等の積極的取り組みや経費圧縮等で減収の影響をおぎなったものの営業利益は349百万円（同9.8%減）、経常利益は営業外費用として生産休止費用を176百万円計上した結果110百万円（同31.6%減）となりました。税引前当期純利益につきましては、特別利益として土地売却益6百万円、保険解約返戻金43百万円、特別損失として訴訟関連損失4百万円、減損損失5百万円を計上したことから150百万円となりました。当期純利益につきましては、法人税、住民税及び事業税が8百万円、税効果会計における課税所得の見積り期間を拡大したことから法人税等調整額が△37百万円となり180百万円（同98.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当事業年度の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同期比963百万円減の5,294百万円（前年同期比15.4%減）となったことに加えて、電子材料が同159百万円減の216百万円（同42.4%減）、写真薬中間体が同128百万円減の157百万円（同44.9%減）となり、受託製造製品が同214百万円増の2,123百万円（同11.2%増）、製紙用薬剤が同35百万円増の309百万円（同13.1%増）、酸化防止剤が同3百万円増の366百万円（同0.8%増）であったものの、全体では同1,001百万円減の8,531百万円（同10.5%減）で着地いたしました。

(ホーム産業事業)

当事業年度の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同期比9百万円増の870百万円（前年同期比1.1%増）となる一方で、その他が同50百万円減の151百万円（同25.2%減）となったことから、全体では同41百万円減の1,021百万円（同3.9%減）となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円、%)

セグメント別	期別 区分	前事業年度 2020年3月期		当事業年度 2021年3月期		増減 金額
		金額	構成比	金額	構成比	
化学品事業	紫外線吸収剤	6,257,664	59.1	5,294,505	55.4	△ 963,159
	写真薬中間体	286,360	2.7	157,685	1.7	△ 128,674
	製紙用薬剤	273,340	2.6	309,024	3.2	35,683
	酸化防止剤	363,638	3.4	366,720	3.8	3,082
	電子材料	375,401	3.5	216,386	2.3	△ 159,015
	受託製造製品	1,909,145	18.0	2,123,460	22.2	214,315
	その他	67,898	0.6	64,092	0.7	△ 3,806
	(小計)	9,533,449	90.0	8,531,875	89.3	△ 1,001,574
ホーム産業事業	木材保存薬剤	860,475	8.1	870,130	9.1	9,655
	その他	202,200	1.9	151,317	1.6	△ 50,882
	(小計)	1,062,675	10.0	1,021,448	10.7	△ 41,227
合計		10,596,125	100.0	9,553,323	100.0	△ 1,042,801

(注) 金額には、消費税等を含んでおりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当事業年度（以下「当期」という）の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という）比133百万円減少し、13,643百万円となりました。流動資産は同332百万円減少の7,874百万円、固定資産は同198百万円増加の5,769百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、売掛金が262百万円、商品及び製品が214百万円、原材料及び貯蔵品が85百万円減少した一方で、現金及び預金が247百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加の主な要因は、リース資産（純額）が238百万円増加したことなどによるものであります。

当期の負債は前期末比298百万円減少し9,118百万円となりました。流動負債は同308百万円減少の5,970百万円、固定負債は同9百万円増加の3,147百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、電子記録債務が64百万円、未払法人税等が77百万円、営業外電子記録債務が46百万円、その他の流動負債が145百万円減少した一方で、一年内返済予定の長期借入金が87百万円増加したことなどによるものであります。固定負債の増加の主な要因は、長期借入金が25百万円、リース債務が240百万円、退職給付引当金が20百万円増加した一方で、未払役員退職慰労金が300百万円減少したことなどによるものであります。

当期の純資産は前期末比164百万円増加し、4,525百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、当期純利益180百万円を計上したことに加え、その他有価証券評価差額金が32百万円増加した一方で、配当金の支払57百万円があったことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前期末の31.6%から33.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローにおいては588百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローにおいては222百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローにおいては118百万円の支出となった結果、前事業年度末に比し246百万円増加し、2,134百万円となりました。

当事業年度中における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、588百万円（前年同期比53.7%減）となりました。

これは主に、減価償却費が503百万円計上されたこと、売上債権の減少額268百万円、在庫の削減を目的とした生産調整に伴うたな卸資産の減少額319百万円、未払役員退職慰労金の減少額△300百万円などの要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、222百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

これは主に、生産能力の向上や生産効率の強化を目的として設備投資を行ったことに伴う、有形固定資産の取得による支出が320百万円計上されたこと、保険積立金の解約による収入92百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、118百万円（前年同期比64.5%減）となりました。

これは主に長期借入れによる収入1,350百万円、長期借入金の返済による支出1,236百万円、リース債務の返済による支出174百万円、配当金の支払い57百万円が計上されたことによるものであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	29.3	29.9	31.1	31.6	33.2
時価ベースの 自己資本比率(%)	54.5	30.9	20.6	20.0	31.9
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	9.8	—	26.3	5.2	11.7
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	8.9	—	3.5	18.3	8.1

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. 2018年3月期は営業キャッシュ・フローがマイナスのためキャッシュ・フロー対有利子負債比率とインタレスト・カバレッジ・レシオは数値を記載しておりません。

(4) 今後の見通し

世界経済は、不安定ながら緩やかな回復基調にはありますが、変異ウイルスの出現やワクチン接種の進捗への不安に加えて地政学的リスク等もあり、極めて不透明な環境におかれており、日本経済についても同様であります。

このように極めて流動的な環境下にはありますが、次期(2022年3月期)の通期業績につきましては、売上高においては、当社主力製品である紫外線吸収剤などのプラスチック添加剤の新規製品も含めた更なる販売強化、品目拡充に注力して成果を出してきた受託製造製品等の事業を更に伸長させ、9,300百万円(注)を見込んでおります。一方、利益面につきましては売上高の実質的な増加(注)や利益率の高い製品の売上比率を高めることで営業利益360百万円、経常利益150百万円、当期純利益100百万円となる予想であります。

なお、当社としての事業拡大・維持のバックボーンである従業員等の感染症対策や健康維持、および管理には細心の注意をはらっており、前事業年度からテレワークや時差出勤など考えられうる制度導入等を行っております。

注：2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日)等を適用する影響により2022年3月期の業績予想における売上高は、従来に比べ約800百万円の減少を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,890,032	2,137,101
受取手形	33,775	27,866
売掛金	2,573,887	2,311,486
商品及び製品	2,835,404	2,620,734
仕掛品	142,054	122,277
原材料及び貯蔵品	500,900	415,465
前払費用	61,606	63,360
未収入金	157,695	132,186
立替金	372	293
その他	16,848	49,626
貸倒引当金	△6,453	△6,316
流動資産合計	8,206,125	7,874,082
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,438,997	3,478,899
減価償却累計額	△2,431,417	△2,504,541
建物(純額)	1,007,580	974,358
構築物	740,644	755,244
減価償却累計額	△590,866	△607,640
構築物(純額)	149,777	147,603
機械及び装置	3,237,130	3,323,655
減価償却累計額	△2,601,731	△2,725,297
機械及び装置(純額)	635,399	598,357
車両運搬具	3,241	3,241
減価償却累計額	△2,850	△3,045
車両運搬具(純額)	390	195
工具、器具及び備品	510,126	576,296
減価償却累計額	△440,345	△490,432
工具、器具及び備品(純額)	69,781	85,864
土地	2,870,604	2,865,289
リース資産	1,057,331	1,205,084
減価償却累計額	△565,028	△474,209
リース資産(純額)	492,303	730,875
建設仮勘定	1,489	1,489
有形固定資産合計	5,227,324	5,404,031
無形固定資産		
ソフトウェア	3,255	1,139
電話加入権	7,979	7,979
無形固定資産合計	11,235	9,119

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	86,016	130,588
関係会社株式	10,800	10,800
破産更生債権等	16,230	15,624
長期前払費用	28,797	22,563
敷金	17,277	17,597
繰延税金資産	87,511	112,869
その他	101,854	61,977
貸倒引当金	△16,230	△15,624
投資その他の資産合計	332,257	356,396
固定資産合計	5,570,816	5,769,547
資産合計	13,776,942	13,643,629

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	72,843	63,515
買掛金	720,267	700,298
電子記録債務	442,387	377,703
短期借入金	2,850,000	2,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,191,350	1,279,100
リース債務	187,366	183,965
未払金	241,766	226,387
未払費用	153,195	147,745
未払法人税等	77,130	—
預り金	8,910	10,070
前受収益	600	672
賞与引当金	101,016	96,400
設備関係支払手形	7,260	1,408
営業外電子記録債務	79,107	33,056
その他	145,410	165
流動負債合計	6,278,612	5,970,489
固定負債		
長期借入金	2,004,100	2,030,000
リース債務	321,901	562,873
退職給付引当金	470,943	491,716
未払役員退職慰労金	300,200	—
株式給付引当金	21,962	17,968
その他	18,974	45,397
固定負債合計	3,138,081	3,147,955
負債合計	9,416,693	9,118,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金		
資本準備金	1,052,562	1,052,562
その他資本剰余金	5	5
資本剰余金合計	1,052,567	1,052,567
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,176,445	1,298,638
利益剰余金合計	1,176,445	1,298,638
自己株式	△51,399	△40,751
株主資本合計	4,332,966	4,465,807
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,282	59,377
評価・換算差額等合計	27,282	59,377
純資産合計	4,360,249	4,525,184
負債純資産合計	13,776,942	13,643,629

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高		
製品売上高	10,234,827	9,243,204
商品売上高	361,297	310,118
売上高合計	10,596,125	9,553,323
売上原価		
製品売上原価		
製品期首たな卸高	2,782,646	2,282,488
当期製品製造原価	8,320,914	7,479,481
合計	11,103,560	9,761,969
製品他勘定振替高	1,359	1,447
製品期末たな卸高	2,282,488	1,891,799
製品売上原価	8,819,713	7,868,722
商品売上原価		
商品期首たな卸高	16,874	14,205
当期商品仕入高	299,888	261,058
合計	316,762	275,264
商品他勘定振替高	50	53
商品期末たな卸高	14,205	20,810
商品売上原価	302,506	254,399
売上原価合計	9,122,219	8,123,122
売上総利益	1,473,905	1,430,201
販売費及び一般管理費		
発送運賃	181,066	171,252
旅費及び交通費	35,706	16,156
交際費	10,595	7,317
貸倒引当金繰入額	165	200
役員報酬	127,789	128,455
給料及び手当	200,990	201,665
賞与引当金繰入額	19,648	19,377
退職給付費用	15,063	15,926
地代家賃	23,774	24,219
賃借料	12,133	12,642
租税公課	46,821	44,183
支払手数料	61,347	68,173
減価償却費	14,110	17,856
研究開発費	221,892	233,385
その他	115,848	120,250
販売費及び一般管理費合計	1,086,954	1,081,062
営業利益	386,951	349,138

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	4,207	4,391
受取賃貸料	16,970	11,700
雑収入	10,692	14,592
営業外収益合計	31,874	30,689
営業外費用		
支払利息	69,822	72,802
賃貸収入原価	4,042	5,452
生産休止費用	169,341	176,506
雑損失	13,666	14,240
営業外費用合計	256,873	269,002
経常利益	161,951	110,825
特別利益		
土地売却益	—	6,251
保険解約返戻金	—	43,004
特別利益合計	—	49,255
特別損失		
投資有価証券評価損	26,886	—
訴訟関連損失	—	4,000
減損損失	—	5,107
特別損失合計	26,886	9,107
税引前当期純利益	135,065	150,972
法人税、住民税及び事業税	64,333	8,162
法人税等調整額	△20,035	△37,345
法人税等合計	44,297	△29,183
当期純利益	90,767	180,156

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	2,155,352	1,052,562	5	1,052,567	1,135,360	1,135,360	△51,399	4,291,882
当期変動額								
剰余金の配当					△49,682	△49,682		△49,682
当期純利益					90,767	90,767		90,767
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	41,084	41,084	-	41,084
当期末残高	2,155,352	1,052,562	5	1,052,567	1,176,445	1,176,445	△51,399	4,332,966

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	42,194	42,194	4,334,076
当期変動額			
剰余金の配当			△49,682
当期純利益			90,767
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,911	△14,911	△14,911
当期変動額合計	△14,911	△14,911	26,172
当期末残高	27,282	27,282	4,360,249

ケミプロ化成(株) (4960) 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	2,155,352	1,052,562	5	1,052,567	1,176,445	1,176,445	△51,399	4,332,966
当期変動額								
剰余金の配当					△57,963	△57,963		△57,963
当期純利益					180,156	180,156		180,156
自己株式の取得							△0	△0
自己株式の処分							10,648	10,648
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	122,192	122,192	10,647	132,840
当期末残高	2,155,352	1,052,562	5	1,052,567	1,298,638	1,298,638	△40,751	4,465,807

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	27,282	27,282	4,360,249
当期変動額			
剰余金の配当			△57,963
当期純利益			180,156
自己株式の取得			△0
自己株式の処分			10,648
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	32,094	32,094	32,094
当期変動額合計	32,094	32,094	164,935
当期末残高	59,377	59,377	4,525,184

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	135,065	150,972
減価償却費	476,084	503,026
減損損失	—	5,107
投資有価証券評価損益(△は益)	26,886	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,987	20,773
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,644	△4,616
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,197	△743
株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,989	△3,993
受取利息及び受取配当金	△4,211	△4,396
支払利息	69,822	72,802
保険解約返戻金	—	△43,004
土地売却損益(△は益)	—	△6,251
訴訟関連損失	—	4,000
売上債権の増減額(△は増加)	△306,973	268,310
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,019,817	319,882
仕入債務の増減額(△は減少)	△176,198	△93,980
未払役員退職慰労金の増減額(△は減少)	—	△300,200
未払又は未収消費税等の増減額	82,236	△178,586
その他	△29,020	40,251
小計	1,322,931	749,356
利息及び配当金の受取額	4,211	4,396
利息の支払額	△69,582	△72,177
法人税等の支払額	△11,776	△89,394
法人税等の還付額	25,326	—
訴訟関連損失の支払額	—	△4,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,271,111	588,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△170,797	△320,278
有形固定資産の売却による収入	—	6,458
保険積立金の解約による収入	—	92,159
その他	△727	△1,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,524	△222,798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,240,000	5,910,000
短期借入金の返済による支出	△5,240,000	△5,910,000
長期借入れによる収入	1,050,000	1,350,000
長期借入金の返済による支出	△1,189,180	△1,236,350
自己株式の取得による支出	—	△0
リース債務の返済による支出	△144,298	△174,180
配当金の支払額	△49,627	△57,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333,105	△118,387
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	766,480	246,994
現金及び現金同等物の期首残高	1,121,220	1,887,701
現金及び現金同等物の期末残高	1,887,701	2,134,695

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社の関連会社はハリマトランジット株式会社の1社ですが、ハリマトランジット株式会社は重要性の観点から、持分法損益等の注記を省略しております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社の関連会社はハリマトランジット株式会社の1社ですが、ハリマトランジット株式会社は重要性の観点から、持分法損益等の注記を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業内容や製品別等のセグメントから構成されており、「化学品事業」及び「ホーム産業事業」の2つを報告セグメントとしております。

「化学品事業」は紫外線吸収剤、写真薬中間体及び製紙用薬剤等の生産・販売を行っており、「ホーム産業事業」は木材保存薬剤等の生産・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,533,449	1,062,675	10,596,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,533,449	1,062,675	10,596,125
セグメント利益	727,237	39,858	767,095
セグメント資産	11,194,698	532,270	11,726,968
その他の項目			
減価償却費	465,250	4,000	469,250
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	257,963	305	258,268

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,531,875	1,021,448	9,553,323
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	8,531,875	1,021,448	9,553,323
セグメント利益	682,973	62,174	745,148
セグメント資産	10,767,360	522,886	11,290,246
その他の項目			
減価償却費	488,736	3,221	491,957
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	664,373	3,263	667,637

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	767,095	745,148
全社費用(注)	△380,144	△396,010
財務諸表の営業利益	386,951	349,138

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資 産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	11,726,968	11,290,246
全社資産(注)	2,049,974	2,353,382
財務諸表の資産合計	13,776,942	13,643,629

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理の現金及び預金であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	469,250	491,957	6,833	11,068	476,084	503,026
特別損失	—	—	—	5,107	—	5,107
(減損損失)	—	—	—	(5,107)	—	(5,107)
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	258,268	667,637	5,875	14,872	264,143	682,509

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社備品類の設備投資額であります。

【関連情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 千円)

日本	その他	合計
9,259,610	1,336,514	10,596,125

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
BASFジャパン(株)	3,026,001	化学品事業

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 千円)

日本	その他	合計
8,535,337	1,017,986	9,553,323

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
BASFジャパン(株)	2,402,453	化学品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	化学品事業	ホーム産業事業	全社・消去	合 計
減損損失	—	—	5,107	5,107

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	266.15円	275.33円
1株当たり当期純利益金額	5.54円	10.98円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前事業年度178千株、当事業年度125千株)。
- また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前事業年度178千株、当事業年度146千株)。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益金額(千円)	90,767	180,156
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	90,767	180,156
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,382	16,414

(重要な後発事象)

該当事項はありません。